

令和の香り！ フジバカマ観察会

R元.10.2

—自然再生と住友ゴム工業株式会社CSR活動との連携—

姫路河川国道事務所

かつては加古川のどこでも見ることが出来た「フジバカマ」。しかし、生育に適した河川の低地の氾濫原の減少等により、今では見かけることが少なくなりました。姫路河川国道事務所では、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境となる礫河原、瀬・淵、わんど・たまり等の河川環境を再生する取り組みを行っています。

加古川の沿川に工場を構える住友ゴム工業株式会社では、自社のCSR活動の一つとして、2014年以降の毎年、当事務所と連携し、加古川工場内で育てたフジバカマの苗を加古川のわんどに移植する活動を実施しています。今回、兵庫県立大学名誉教授の服部保氏を招いたフジバカマ観察会を開催し、姫路河川国道事務所も参加しました。

概要

- ◇ 日時：令和元年10月2日（水）
11時30分～14時00分
- ◇ 場所：住友ゴム工業株式会社 加古川工場
加古川市河川公園近傍のわんど
- ◇ 参加者：住友ゴム工業（株）
姫路河川国道事務所 4名
地域住民（NPO団体） 8名
- ◇ 内容：住友ゴム工業（株）のCSR活動の紹介
服部保氏の講義
工場内、河川敷のフジバカマの観察



【フジバカマ】キク科 多年草
かつては日本各地の河原に群生していたが、数を減らし環境省レッドリストで準絶滅危惧種に指定されている。川沿いの氾濫原に生育し、兵庫県では加古川、円山川、武庫川などで見られる。

位置図



※CSRとは？…企業の社会的責任の略であり、企業が倫理的観点から事業活動を通じて、自主的に社会に貢献する責任のこと。



CSR活動を紹介する
CSR推進室 小林氏
(住友ゴム工業株式会社)



フジバカマの講義をする
服部 名誉教授
(兵庫県立大学)



挨拶をする
豊田総括保全対策官
(姫路河川国道事務所)



フジバカマ

室内講義の様子

過年度に河川敷へ植栽したフジバカマの観察



工場内で栽培中のフジバカマ

参加者の声

- ・ 観察会に、また参加したい。
- ・ フジバカマが自分の背丈以上に育つ植物とは知らなかった。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250
☎079-282-8211(代表)



【番外編】令和とフジバカマの関係

令和の出典(万葉集三十二首序文)にフジバカマが登場している。

「万葉集」の梅花の歌、三十二首の序文

初春の令月にして、気淑く風和ぎ、
梅は鏡前の粉を披き、**蘭**は珮後の香を薫す。

元号「令和」の出典となったこの和歌において、「蘭」はフジバカマを指します。

★プチ情報★

フジバカマの葉は乾燥させると、桜餅のようなとても良い匂いを発します。

いにしえの万葉の人々は、これを小袋に入れて腰の帯につけていたんだそうです。令和って素敵ですよ。